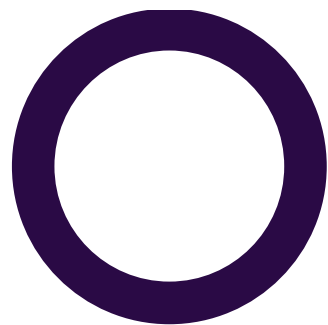




# 総合教育会議

不登校支援のさらなる充実に向けて

## 本日の協議事項

【不登校支援を充実させるには  
どのような改善・工夫が必要か】

はじめに 不登校とは

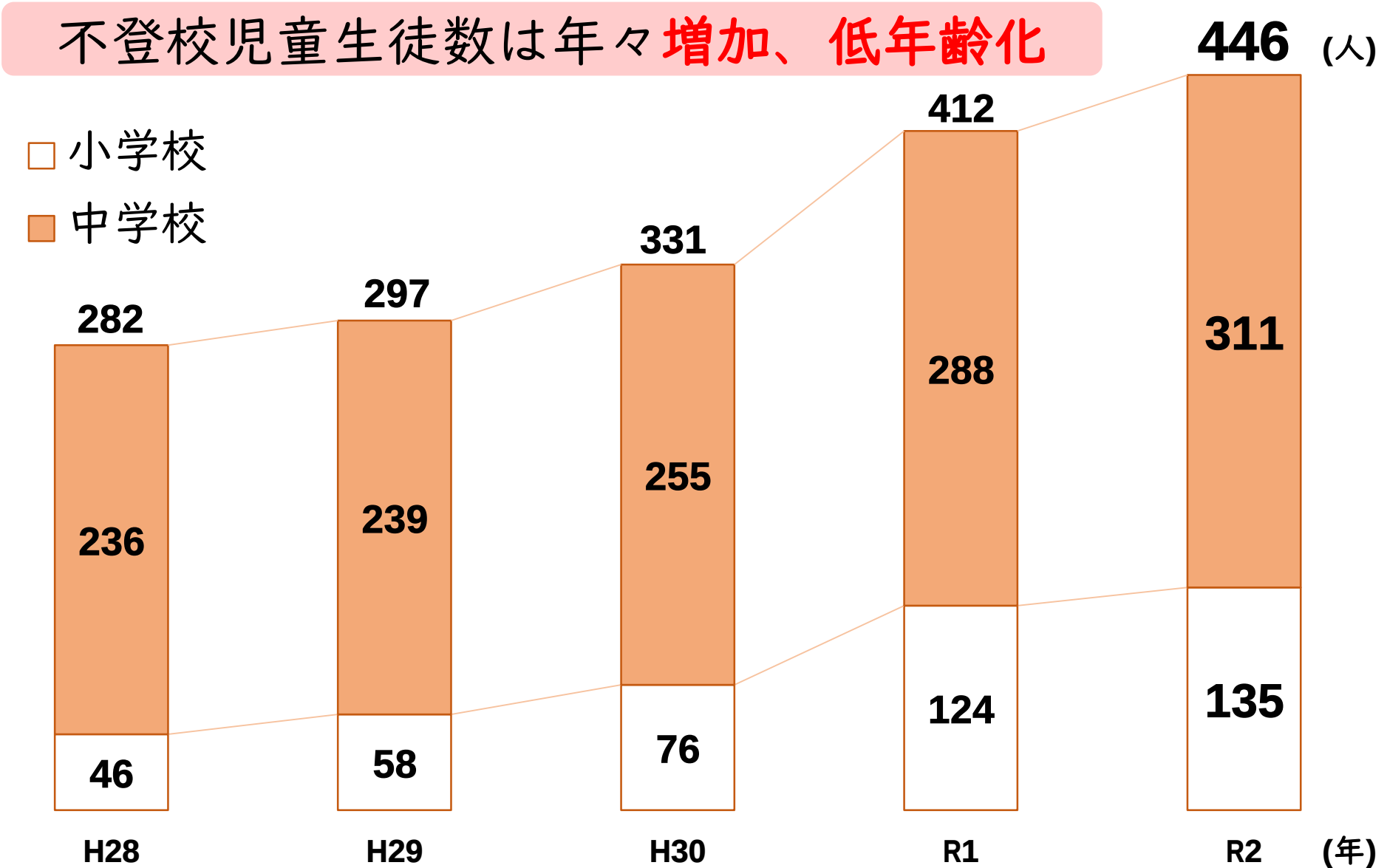
何らかの心理的、情緒的、身体的、  
あるいは社会的要因・背景により、  
登校しないあるいは  
したくともできない状況にあるために

年間30日以上欠席した者のうち、  
病気や経済的な理由による者を除いたもの

(文科省：児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査より)

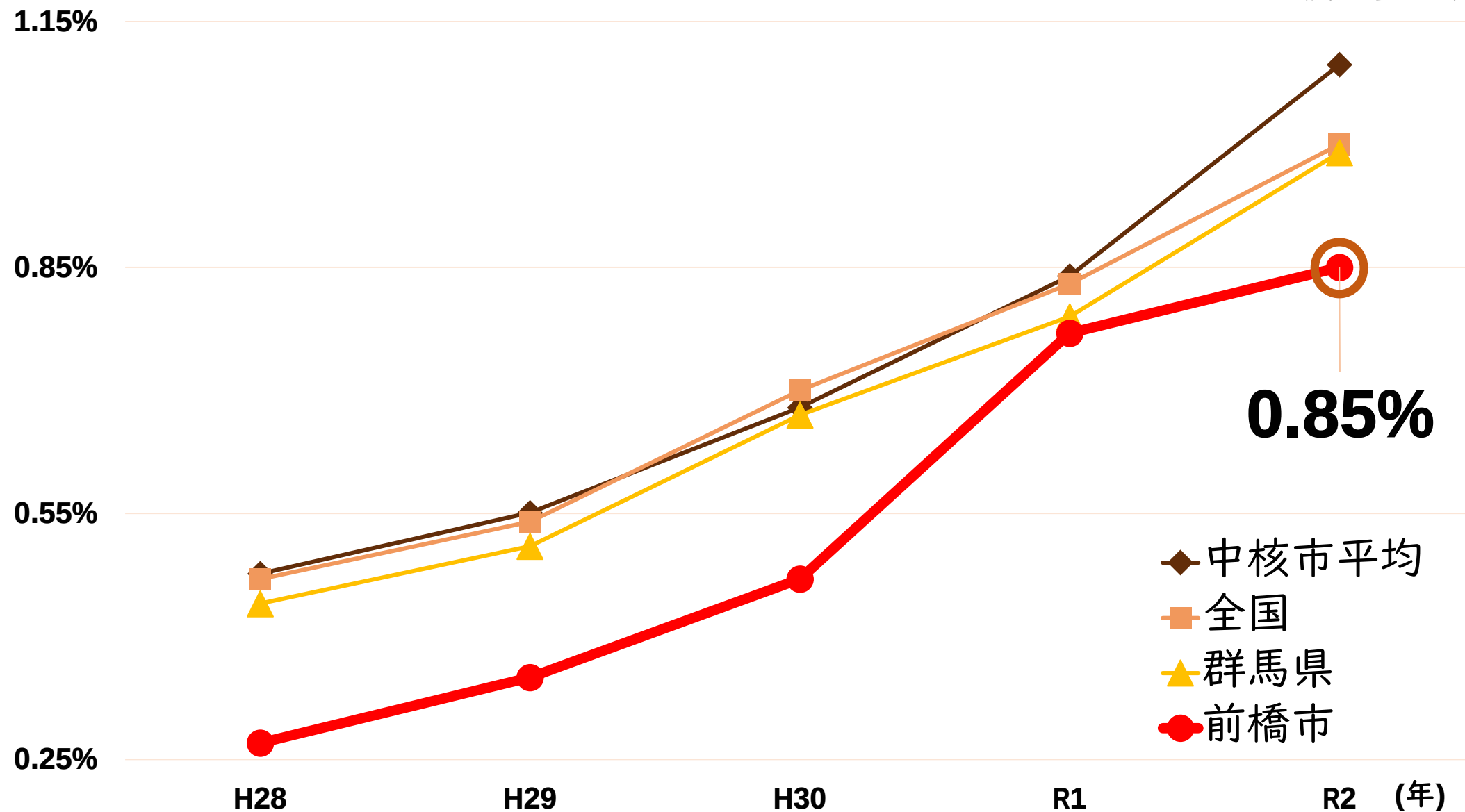
# Ⅰ. 本市の不登校の現状

# (Ⅰ) 本市の不登校の現状 ① 不登校児童生徒数

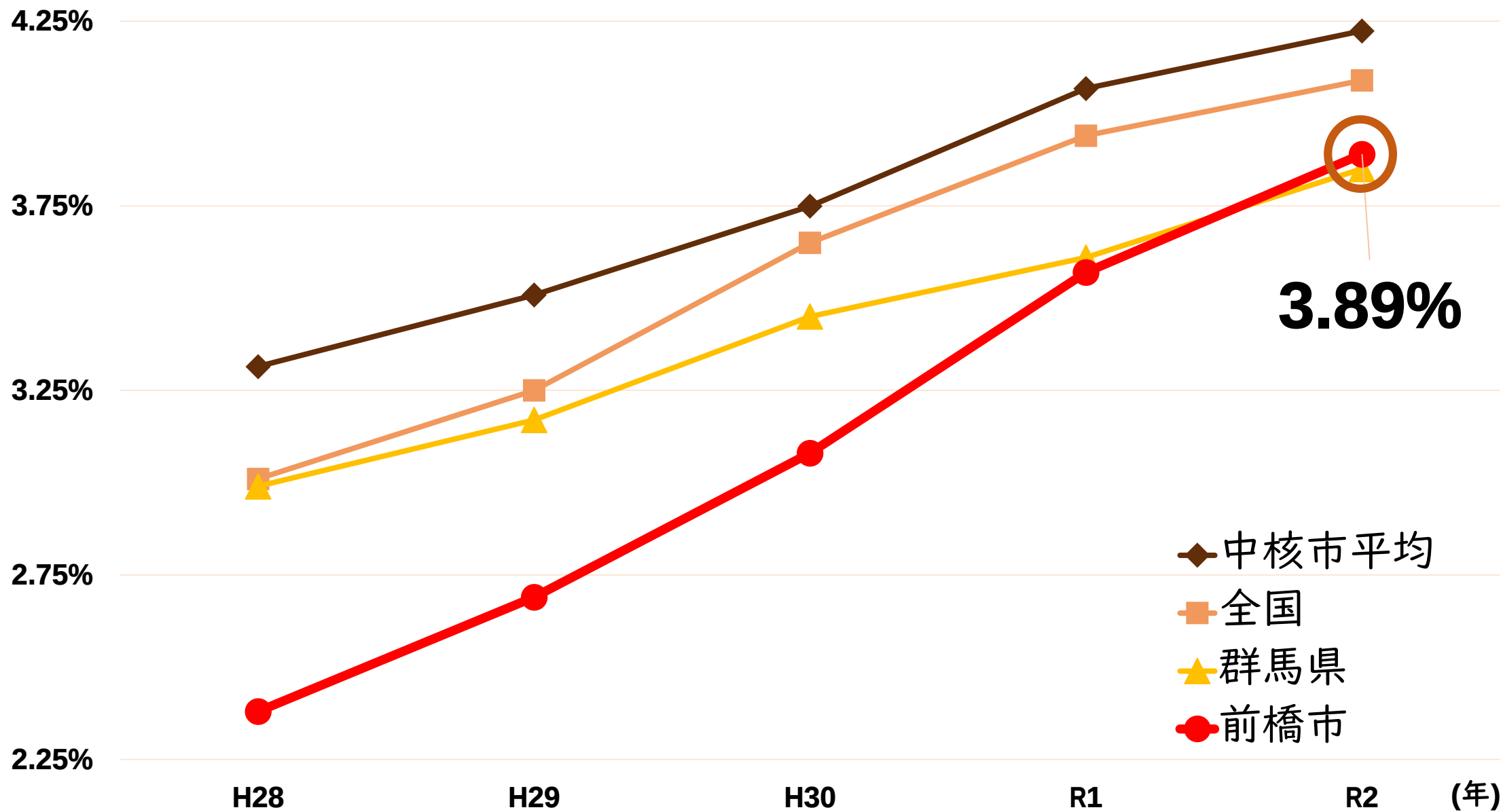


## ② 小学校不登校児童出現率

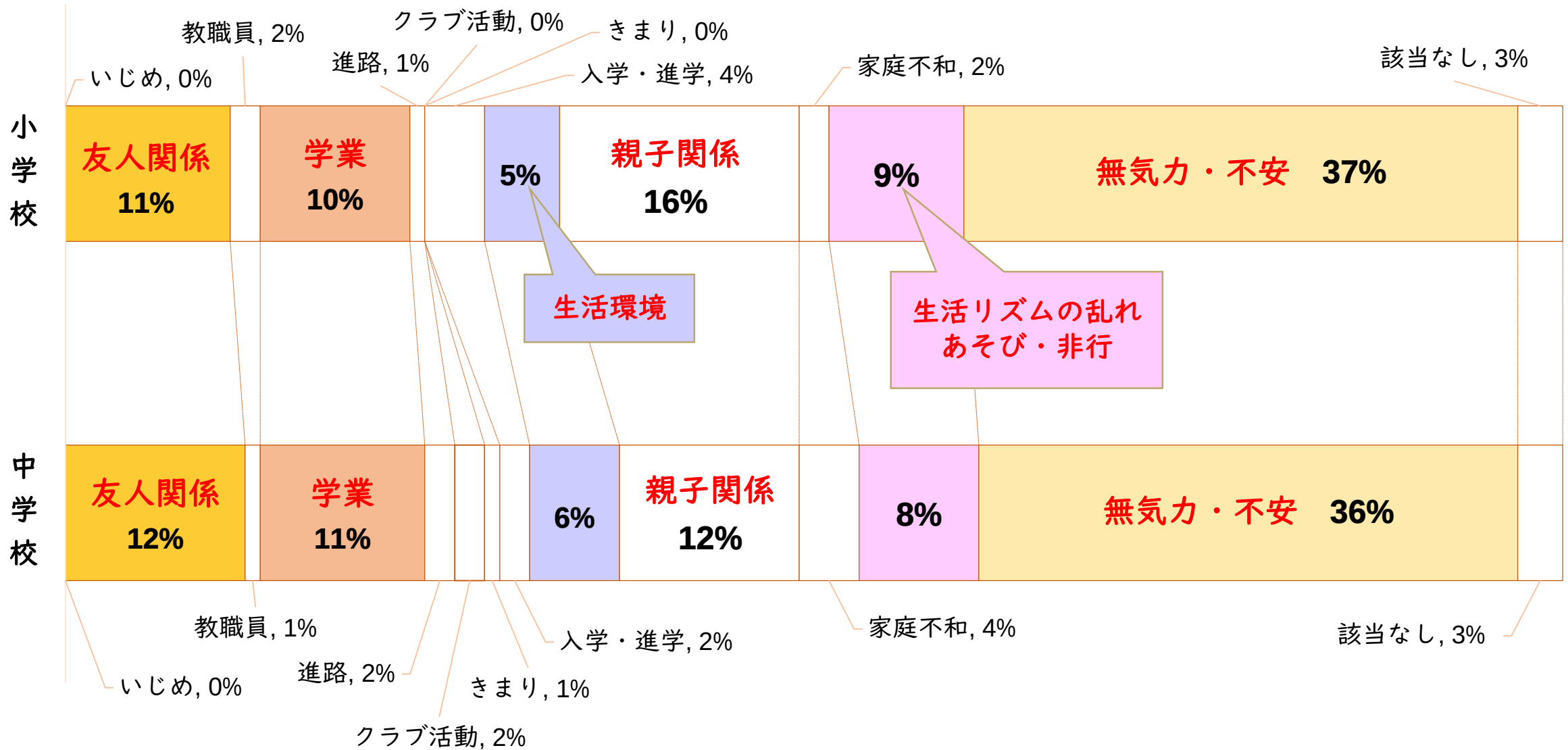
【出現率】 児童生徒100人中の  
不登校児童生徒数



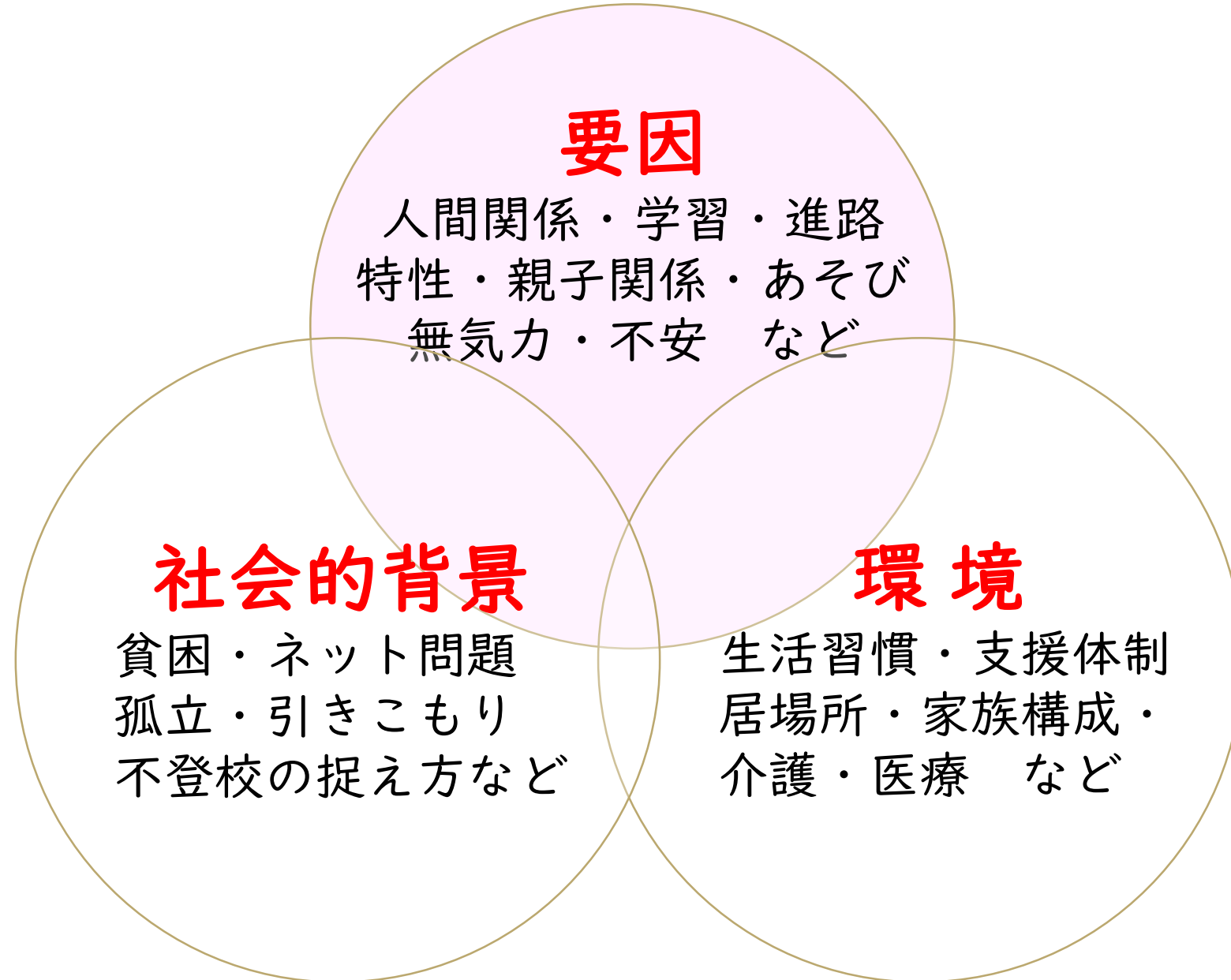
### ③ 中学校不登校生徒出現率



## (2) 不登校の要因 (前橋市)



### (3) 現状から考える要因・背景・環境



## (4) 今後の支援

様々なタイプの不登校



一様な支援は困難

(今まで通りの支援では補完しきれない)



多様な支援が必要

## 2. 本市の不登校支援の基本的方針

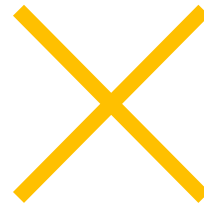
# (Ⅰ) 前橋の教育が目指す人間像と不登校支援

## ● 前橋の教育が目指す人間像

【多様な人と協働しながら、主体的・創造的に社会を創る人】

### 個の育ち

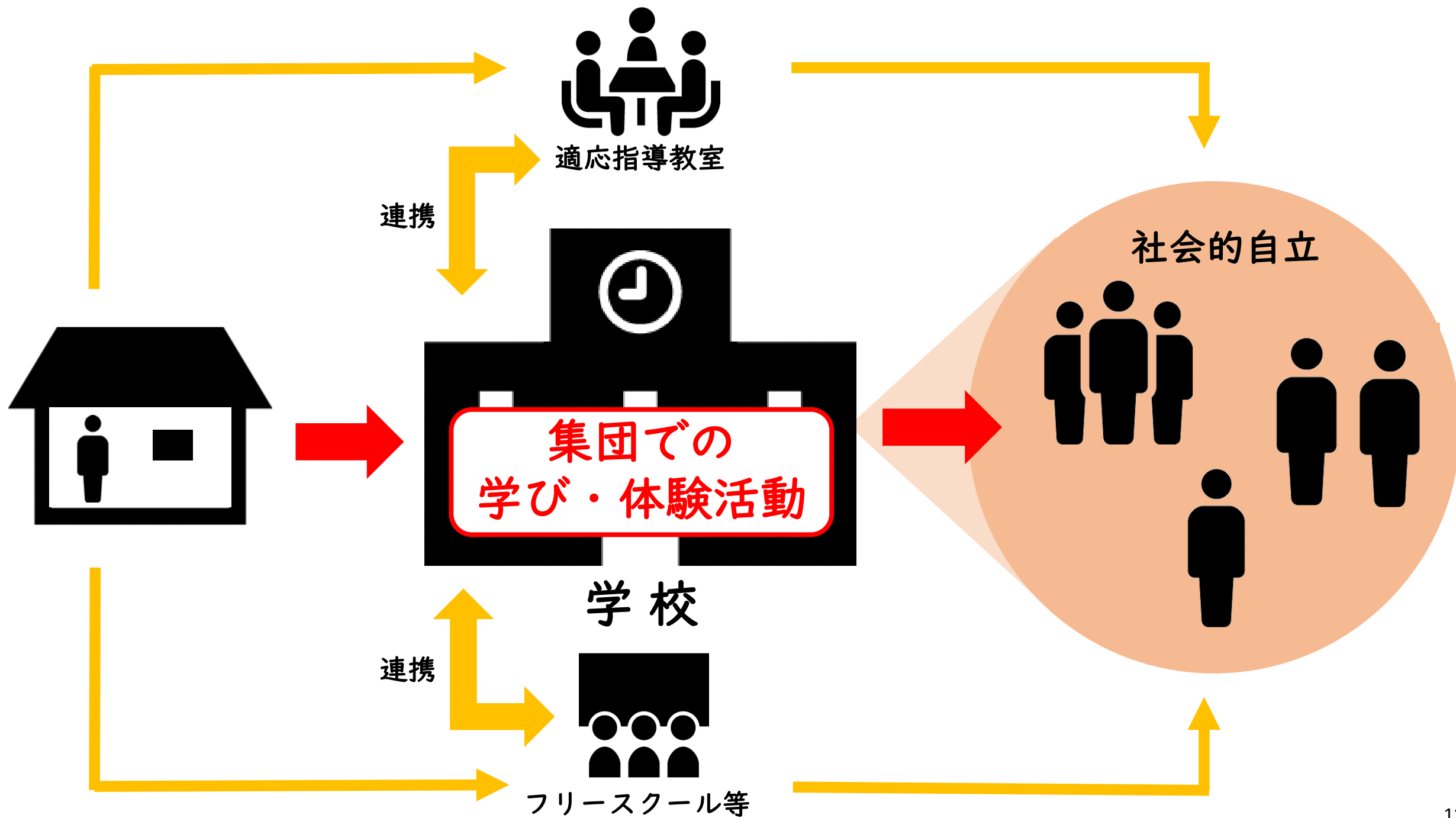
感性・知識・能力・思考力・  
判断力・表現力・主体性など



### 社会の中での育ち

人間性・社会性  
協働性・創造性など

社会的自立に向け、「個の学び」とともに、  
「集団での学び」を大切にする。



## (2) 本市の不登校支援に対する基本的方針 全ての子供を対象として・・・

- ① 居場所の確保（学校、適応指導教室等）
- ② 児童生徒自ら自己決定が行える支援
- ③ 他者との関わりを大切にした取組  
（①～③を拡充するICT機器の活用）
- ④ 個々の要因を踏まえた適切な支援

### 3. 本市の不登校支援の概要

# (1) 本市の不登校支援体制図

【各学校】 担任・関係職員・養護教諭・S C等  
不登校支援を行う主体

柱1 未然防止

柱2 初期対応

柱3 組織的対応

研修・資料作成

情報共有・助言

派遣

連携

【市教委】  
学校をサポート

不登校対策担当者会議

不登校問題等対策会議

プラザ相談

個別サポート支援

スクールアシスタント

オープンドアサポート

適応指導教室事業

## (2) ① 学校における未然防止の取組例 (柱Ⅰ)

### ● 魅力ある学校づくり

「温かい学級」づくり

主体性を育む児童会・生徒会活動

### ● わかる授業づくり

I C Tを用いた多様な学び

### ● 望ましい生活習慣づくり

異学年交流活動



## ② 学校における初期対応の取組例（柱２）

### ● 関係職員による情報の収集・管理

配慮児童生徒の心身の把握

見守り体制の構築

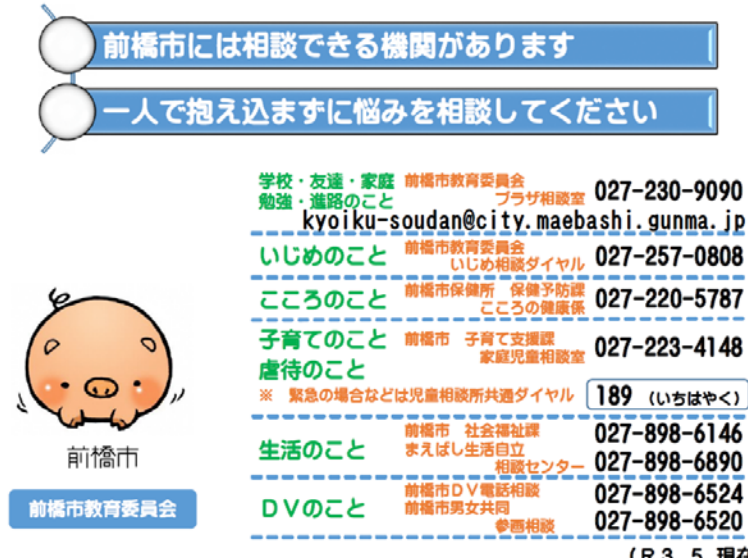
### ● 変化への適切な対応

欠席した時の対応（１日目、２日目電話連絡、３日目家庭訪問）

S O S への迅速な働きかけ

保護者と連携した対応

支援方針の検討



前橋市には相談できる機関があります

一人で抱え込まずに悩みを相談してください

学校・友達・家庭 前橋市教育委員会 027-230-9090  
勉強・進路のこと プラザ相談室 kyoiku-soudan@city.maebashi.gunma.jp

いじめのこと 前橋市教育委員会 027-257-0808  
いじめ相談ダイヤル

こころのこと 前橋市保健所 保健予防課 027-220-5787  
こころの健康係

子育てのこと 前橋市 子育て支援課 027-223-4148  
虐待のこと 家庭児童相談室

※ 緊急の場合などは児童相談所共通ダイヤル 189（いちばやく）

生活のこと 前橋市 社会福祉課 027-898-6146  
まえばし生活自立相談センター 027-898-6890

DVのこと 前橋市DV電話相談 027-898-6524  
前橋市男女共同参画相談 027-898-6520

前橋市  
前橋市教育委員会

(R3.5 現在)

### ③ 学校における組織的対応の取組例（柱3）

#### ● 相談部会の充実

短期・長期目標に向けた支援

保護者との情報共有と支援の修正

#### ● チームの支援体制づくり

カウンセラー等外部専門家の介入

ケース会議による支援の評価・改善

# (3) 教育委員会の主な不登校支援事業

○ 不登校問題等対策会議

○ 不登校対策担当者会議

○ プラザ相談

○ 個別サポート支援

○ **スクールアシスタント事業**

○ **オープンドアサポート事業**

○ **適応指導教室事業**

# ① スクールアシスタント i) 役割

## 【目的】

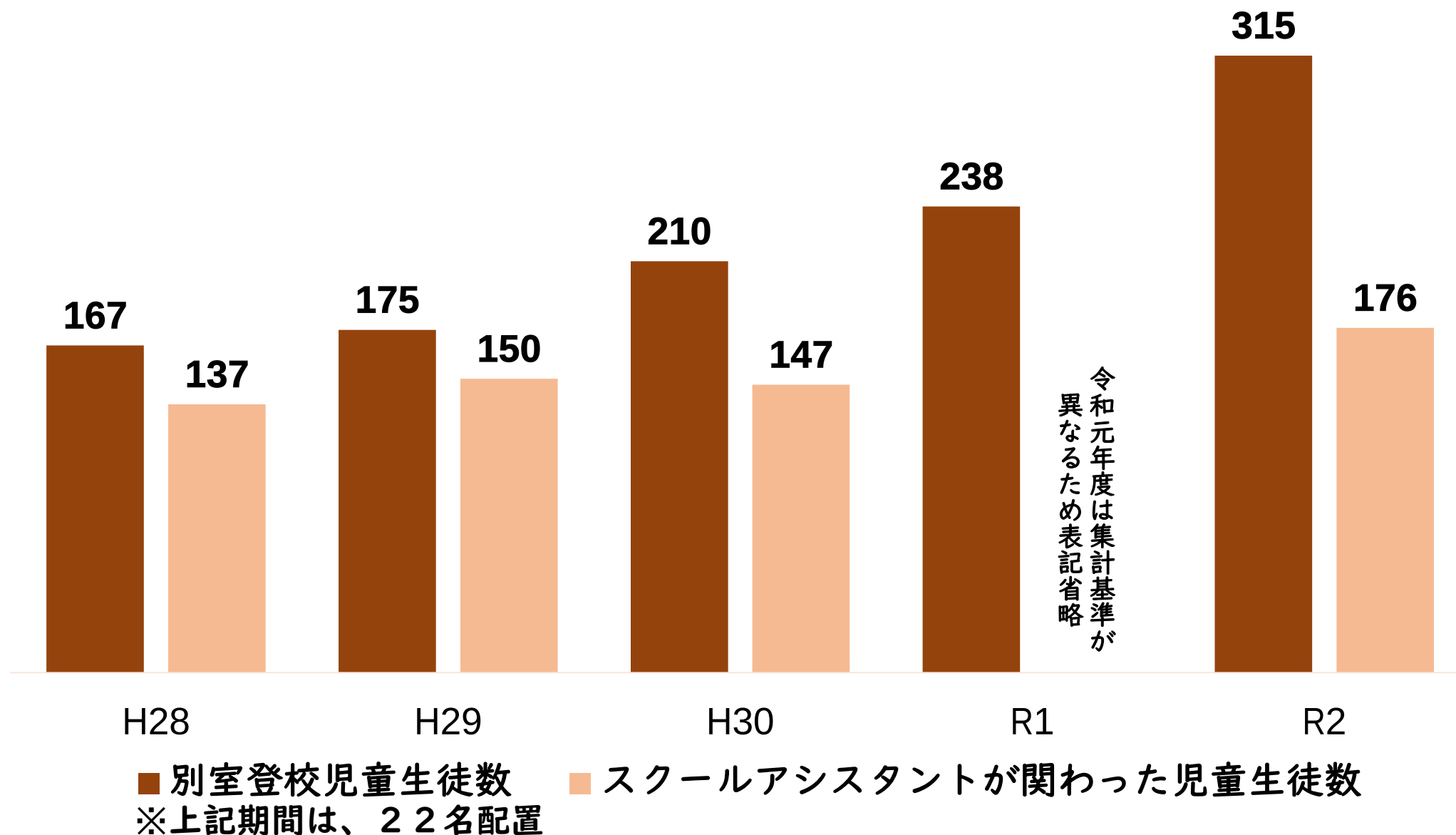
- **安心**できる関係や場の構築
- 児童生徒の **自己決定**の促進

## 【事業の概要】 23名配置（R3）

- 相談室での相談・学習補助
- 教室での学習等の個別支援



## ii) スクールアシスタントの対応状況



### iii) 取組例Ⅰ 家庭訪問支援（小学校）

## ●対象児童・保護者の要望に応えるため 担任に代わって訪問

#### 【学校・担任】

空き時間がないので、助かる

現状を家庭と共有できる

（授業中であっても）必要なタイミングで働きかけられる

#### 【児童・保護者】

時間を合わせて関わってもらえる

### iii) 取組例2 相談室等での支援（中学校）

#### ●相談室でのタブレット活用（対象：相談室通学生徒）

- ・授業配信計画を作成して配布
- ・選択した授業の配信を見て学習

#### 【学校・担任】

クラスと繋がり学習内容を確認できる  
双方向のやり取りが課題

#### 【生徒・保護者】

学級の様子・学習内容を確認できる



## ② オープンドアサポーター i) 役割

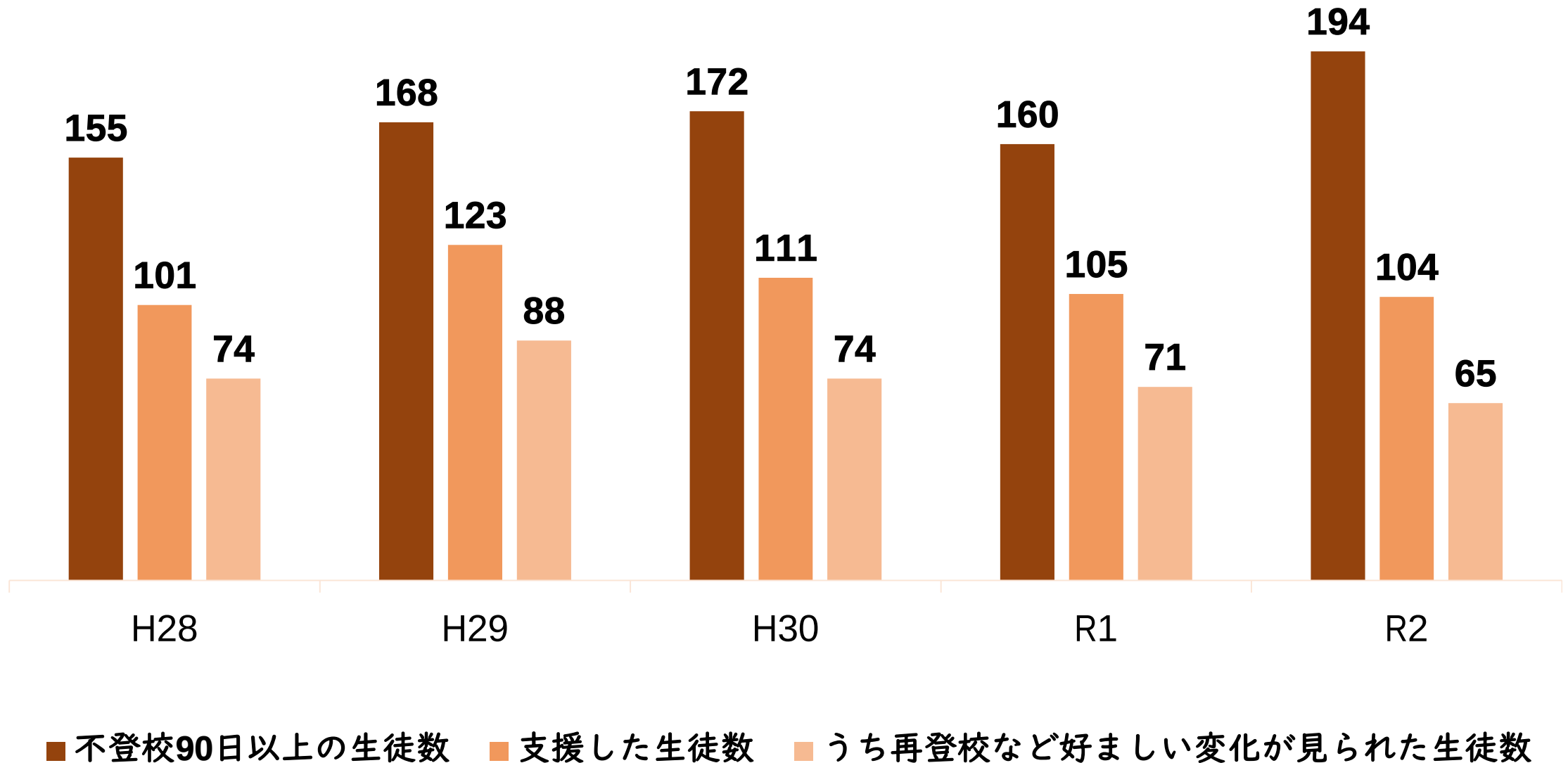
### 【目的】

- 保護者との信頼関係づくりと課題共有
- 課題から個々に必要な支援へつなぐ

### 【事業の概要】 全中学校配置

- 訪問支援と生徒・保護者への教育相談
- 学校復帰に向けた働きかけ

## ii) オープンドアサポーターの対応状況



### iii) 取組例Ⅰ Ⅰ日を通した個別支援（中学校）

#### ●不安を和らげるために 登校から下校まで一貫した支援

##### 【学校・担任】

不安定な生徒へ粘り強く関わることができる  
安心感を持たせ、力を蓄えることにつながる

##### 【生徒・保護者】

常に一緒にいる安心感が持て、相談がしやすい



### iii) 取組例 2 小学校での訪問支援

- 長期欠席状態を解消するため  
今年1学期から 9 校の小学校で試験的に実施

#### 【学校・担任】

支援可能な時間帯が増えた  
ひきこもりの深刻な状況を防ぐことができる

#### 【児童・保護者】

一緒に散歩に出かけ、学校に寄ることができた

### ③ 適応指導教室 i) 役割

#### 【目的】

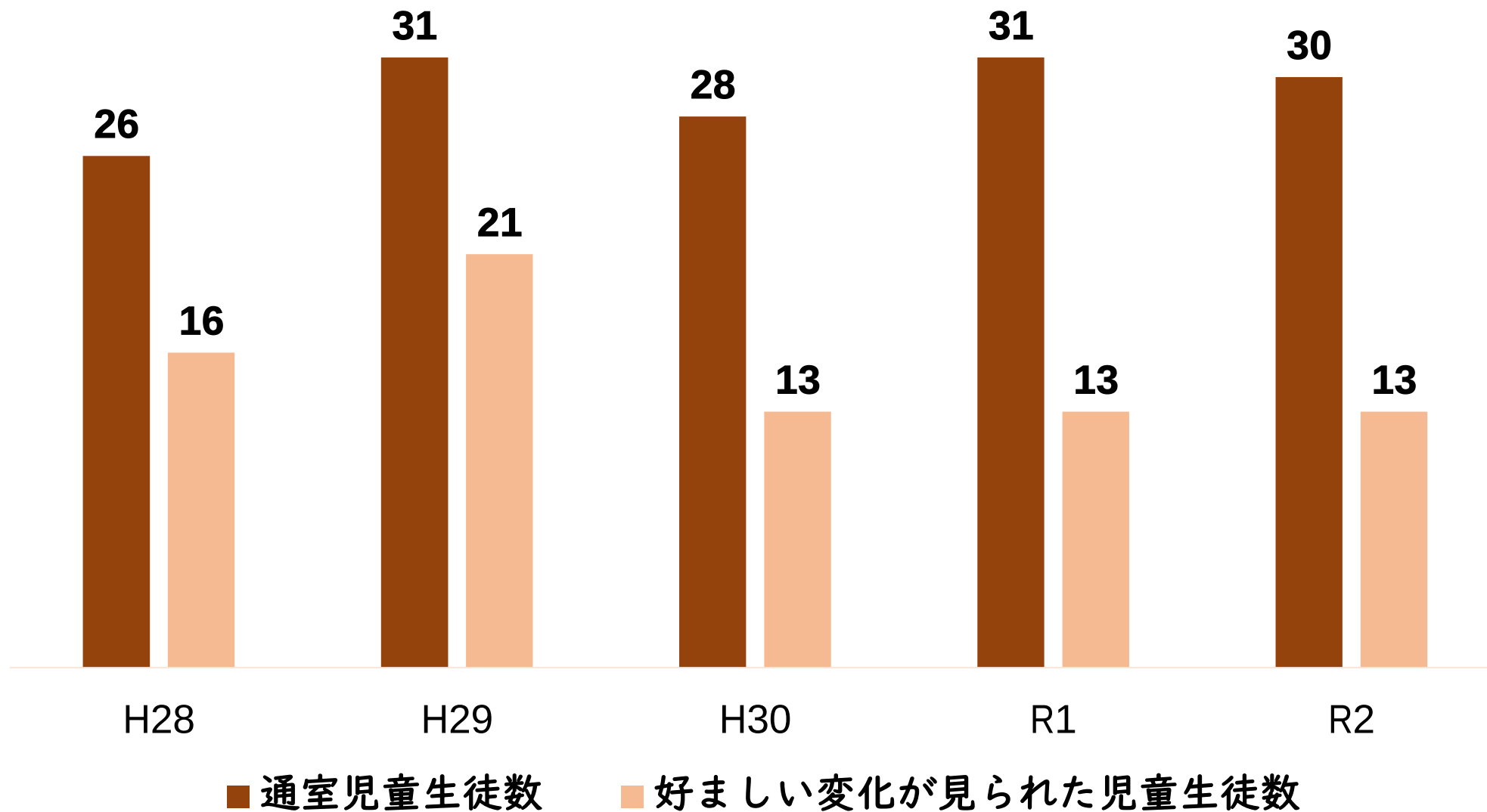
- 心の安定を図り社会的自立や学校復帰に向けた個別支援

#### 【事業の概要】 市内3カ所設置

- 生活習慣・学習機会の確立
- 学校・家庭と連携した支援
- 保護者相互の交流機会の確保



## ii) 適応指導教室の対応状況



### iii) 取組例Ⅰ 状況に合わせた個別支援

- 様々な要因や環境により  
不登校になった子供に適切な働きかけの実施

#### 【児童】

中学生のお兄さんと話ができる  
ようになったり、指導員の先生と  
少しずつ勉強をすることができ  
ようになりました



### iii) 取組例2 ICTを活用した学習・交流活動

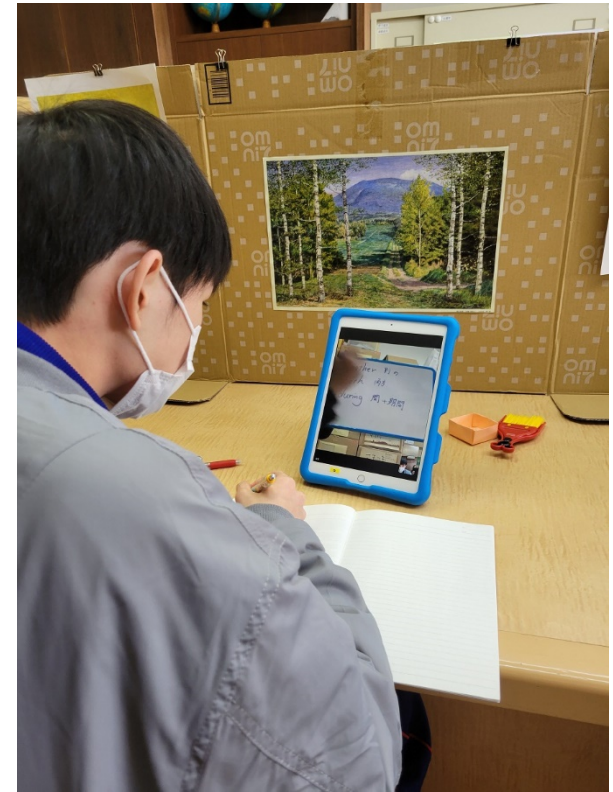
- 個別の課題に合わせた学習アプリの活用
- タブレットによる対面学習指導

#### 【指導員】

教室以外の人との関わりができるようになった  
関わりが苦手な児童生徒は繋がるのが難しい

#### 【児童生徒】

学校だと飽きちゃうことが多いけど、授業が  
短くてちょうどよい



タブレットによる  
対面学習の様子

## 4. 3つのサポート事業の課題と今後の取組

# ① スクールアシスタント

● 支援者相互による情報共有が不十分



○ マニュアル作成・研修内容の充実

→ 見取った **情報** を **一元化** した最適な支援

○ 共通理解を深める機会の確保・設定

→ **役割分担** の明確化による効率化

# ① スクールアシスタント

●個々に必要な学習環境の提供ができない



○相談室環境の整備

→個別に取り組むためのブース設置

→ICT活用による最適化された支援

○相談室運営を担う人材不足

→スクールアシスタント増員



## ② オープンドアサポーター

●不登校の低年齢化に伴う初期対応の遅れ



○小学校へのオープンドアサポーター  
配置の拡充

→初期段階での支援で望ましい反応

→数年後の不登校数の減少に繋げる



## ② オープンドアサポーター

●引きこもりによって

直接的な支援への不安感が大きい



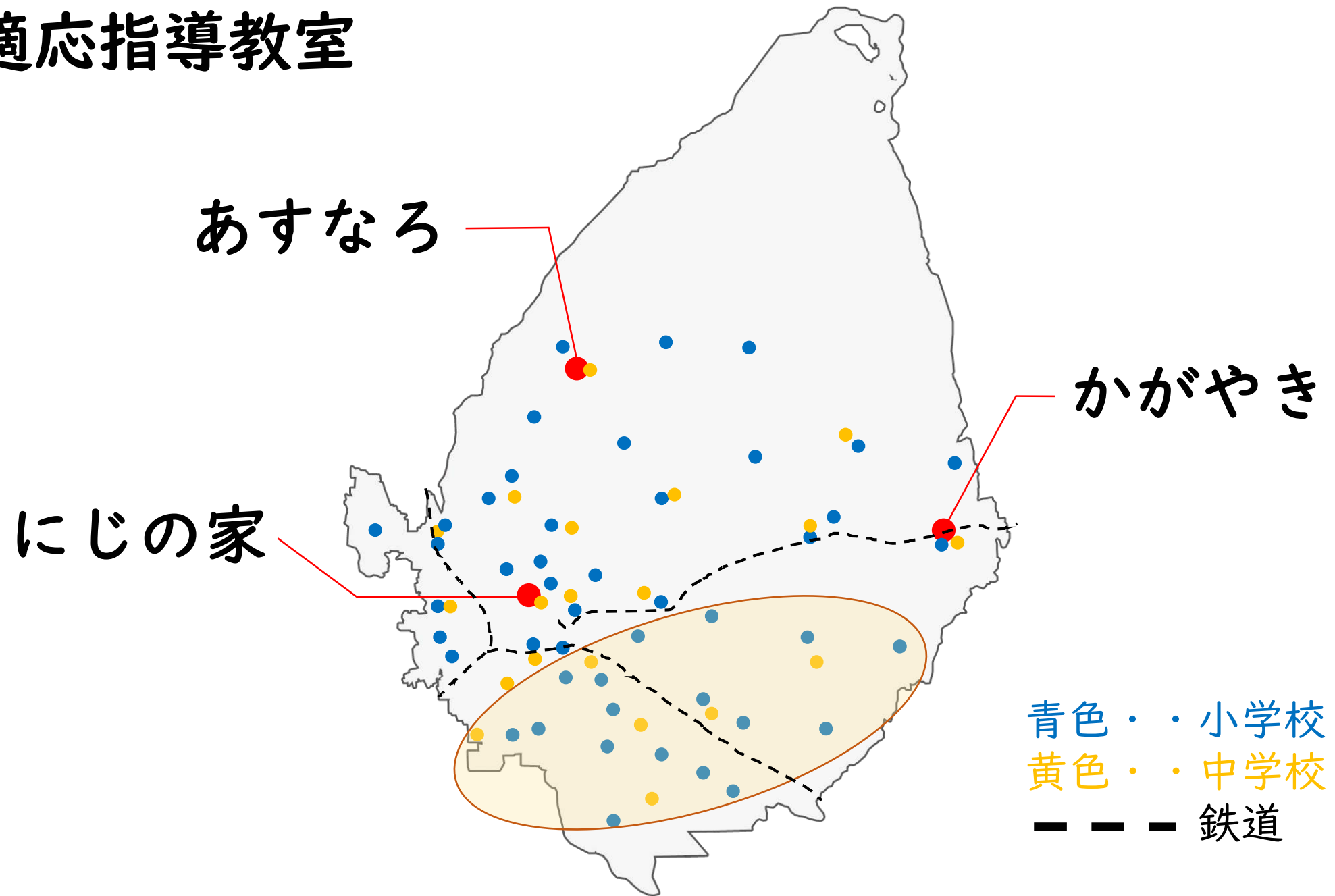
○オンラインでの対面支援の導入

→訪問支援におけるICT機器活用

→スクールカウンセラーとの

オンライン面談への接続

### ③ 適応指導教室



### ③ 適応指導教室

● 遠距離・送迎の課題等による活用の断念



○ 適応指導教室の増設

○ 公民館等と連携した  
出張適応指導教室

○ 通室に関わる交通手段の確保



### ③ 適応指導教室

- 「適応指導」という言葉への抵抗感による利用控え



- 【教育支援センター】への名称変更
  - 幅広い活用の提案
  - 活用時期・目的の共有化

## 本日の協議事項

【不登校支援を充実させるには  
どのような改善・工夫が必要か】